

うない通信 for 先端型

Vol.3

国立大学法人琉球大学ジェンダー協働推進室 ニュースレター

2021年3月発行

SDGsセミナー

「多様性が社会をよくする・強くする」

本学では、令和3年2月5日(金)、SDGsパートナーズ有限公司 代表取締役CEO 田瀬和夫氏をお招きし、ジェンダー協働推進室委員やSDGs推進室員などを対象にした第1回SDGsセミナー「多様性が社会をよくする・強くする」をオンラインで開催しました。

本セミナーは、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」の一環として、SDGsの概念や、SDGs目標5「ジェンダー平等を実現しよう」について理解を深めることを目的に、SDGs推進室との共催で実施されました。

田瀬氏の講演では、SDGsの概念を理解する上で重要となるキーワードとして、2030アジェンダから「no one will be left behind」、「in larger freedom」、「well-being」、「present and future generations」などを挙げて、SDGsが目指す世界像について丁寧な説明がありました。

日本においては、SDGsはとかく17の目標と169のターゲットが上げられ数値目標だけが先行しているが、次世代のためにどのような社会を残せるのかを考えることが重要であるという指摘がありました。

続いて、国連世界食糧計画の学校給食支援事業や具体的な企業の取組を通して、SDGsドミノの概念やレバレッジ・ポイント(強化すると最も高い効果を生み出せる点)などについて大変わかりやすく説明いただき、SDGsは全ての目標が相互に絡み合い連結していることを改めて理解することができました。

また、日本でSDGsを推進していく上でのレバレッジ・ポイントは目標5「ジェンダー平等を実現しよう」であること、組織におけるダイバーシティ&インクルージョンの推進に関して、個が確立し互いに尊重しあっていること、心理的安全性が確保されていることなどが最も重要であると述べられていました。

本学では、SDGsへの取組やダイバーシティ&インクルージョンを推進し、多様な人材が活躍できるよう各種支援を実施していますが、今後も人材の多様性を確保するとともに、全ての構成員が自分らしく活躍できる魅力ある組織となるために、どのような取組が実践できるのかについて考えるよい機会となりました。



令和3年3月5日(金)、本学に所属する全教職員を対象とする第2回SDGsセミナーをオンラインで開催しました。講師には前回に引き続き、田瀬和夫氏(SDGパートナーズ有限公司 代表取締役CEO)にご登壇いただき、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」を軸に、SDGsの成り立ちから日本におけるSDGs推進に関する解説、組織としてダイバーシティ&インクルージョンにどのように取り組むか等について、企業や教育・研究機関における事例を交えながらお話いただきました。学長、理事をはじめ約70名の教職員が参加しました。

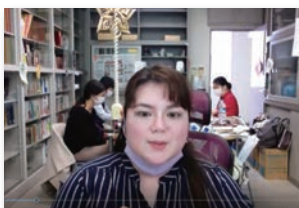


オーガナイザー養成支援

学内だけでなく、学会や外部委員会等の企画・運営等においてもリーダーシップを発揮できる人材の育成を目的として、女性教員を対象に制度利用者を募集しました。

今年度は、人文社会学部講師の中村春菜先生によるシンポジウム「地域史と世界史を繋ぐ1947-1949『チャイナ部隊』～写真・証言・外交文書から読み解く戦後初期秘話～」が採択され、令和3年2月21日(日)に開催されました。

沖縄県では緊急事態宣言が発令されていたため、当初予定していた会場での実施を変更してオンラインで行われ、学内外から9名の方が発表等を行いました。



参加無料
要事前申し込み
(先着100名)
2月19日締切

地域史と世界史を繋ぐ
1947-1949「チャイナ部隊」
～写真・証言・外交文書から読み解く
戦後初期秘話～

2021.2.21(日)13時～17時40分 オンラインシンポジウム(ZOOM使用)

プログラム	内容
13:00-13:05	開会挨拶
13:05-14:00	第1部「チャイナ部隊」 司会：中村春菜先生(琉球大学) 出演：伊藤美穂子(琉球大学)、 コトノハナ(琉球大学)、中村春菜先生(琉球大学)
14:05-18:00	第2部「中国の中の中国語と中国語」 司会：中村春菜先生(琉球大学) 出演：中村春菜先生(琉球大学)、 中村春菜先生(琉球大学)、 中村春菜先生(琉球大学)
17:30-17:40	閉会挨拶

主催：戦後沖縄チャイナ部隊研究会(部員：琉球大学・中村春菜先生)協力：琉球大学ジェンダー協働推進室

女性教員海外調査派遣制度

研究や大学運営における上位職登用に向けた女性研究者の育成と支援の一環として、利用者を募集しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し、オンラインを活用した制度利用についても支援することとしました。具体的には、研究活動に必要な消耗品や実験機器の購入、オンライン環境の整備に必要な設備等の購入が可能となります。また、海外に渡航する場合と同様に、制度利用中の教育に支障がないよう、代替非常勤講師雇用に係る経費を措置することとしています。

なお、令和3年度利用者募集のご案内はHP等でお知らせいたします。

国際学会派遣+1(プラスワン) Visit

女性研究者の研究力と管理運営能力の向上を支援するため、教授・准教授・講師の女性教員を対象に利用者を募集しました。

国外で開催される国際学会等で本人が自ら研究成果発表を行う場合、旅程に「+1 Visit」として国際共同研究を推進するためのミーティングや新たな研究ネットワークの構築に関連する訪問、または教育研究機関等における管理運営に関する先進的取組の調査を目的とした訪問を加えていただくもので、それに関わる旅費等費用を補助します。

今年度は新型コロナウイルス感染症への対応として、オンラインで行われる国際学会への参加も対象とし、同様に「+1 Visit」についてもオンラインによる訪問が可能となりました。また、旅費、学会参加費に加え、「+1 Visit」訪問先への謝礼、「+1 Visit」通訳に係る費用についても支援の対象としています。

なお、令和3年度利用者募集のご案内はHP等でお知らせいたします。

ロールモデル集『ポラリス』を作成しました

上位職のロールモデルとなる女性研究者の方々を紹介する冊子を作成しました。
本学に縁のある世界で活躍する女性研究者へのインタビュー、本学ダイバーシティ推進担当理事とジェンダー協働推進室長の対談、本学に所属する女性教授からのメッセージを掲載しています。
ジェンダー協働推進室のHP (<http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/sentan/other>) にも掲載していますので、ぜひご覧ください。



事業・セミナー等の詳細につきましては、随時ジェンダー協働推進室先端型HPで発信しています。



国立大学法人 琉球大学 ジェンダー協働推進室
Gender Equality Promotion Office, University of the Ryukyus

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地 大学本部1階 TEL:098-895-8675

E-mail: gender@acs.u-ryukyu.ac.jp URL: <http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/sentan/>